

長期連載—変革構想の研究 第1回

社会変革の包括的視座めざし

請戸 耕市



マルクス

序 連載開始にあたって

革命をめざして

たしかにマルクスは、『共産党宣言』(1848年)...

果たして、この見地は今日も継承されるべきなのか。

先人たちは、実は、実践の苦闘の中でそれぞれ次々に考えてきた。

1848年革命敗北の後、マルクスは権力奪取に焦点を絞った政治革命から、政治革命をその一環とする社会革命の構想に転回して

問題意識の第一は、政治革命と社会革命である。

「プロレタリアートが政治権力を奪取するところからしか革命は始まらない」「権力奪取こそ運動の当面する第一の目的」

われわれは—そういううへへが許されれば—従来、こういう見地を確信し運動をしてき

で提出している。それぞれについて立ち入って検討したいところだが、本連載では、マルクスの変革構想が、48年革命を経

た。マルクスは政治解放(近代)にたいして人間解放を対置する

の核が放逐された—ある程度、幅をなす疎外論は、『資本論』から最晩年まで

深められながら貫かれてきたものだったのでないか。

反スターリン主義を掲げた運動も、これらの問題と十分には対決

してこなかったように思える。「マルクス主義」およびそれを掲げた政治勢力が、時代に

たいして次第に影響力を喪失していった理由

のひとつに、このようない問題があったのでは

ないかと考える。ところで、マルクス

の理論にたいして、「マルクス主義とは何か。それはマルクスの後継者たちによって定式化

され、さらにスターリン主義によって主流化されたものだった。そ

して、マルクスの理論とは決定的なところで

違っていたといわざるを得ない。

結論だけ論断すれば、①について政治革命主義に偏り、②に

新しい価値観や政治を求めて激しく流動している。しかしまた、新しいところか古色蒼然たる国家主義やナショナリズムに流動すると

いう事態も生み出されている。

この全事態をとらえる新たな世界観・価値観が求められている。

マルクスは近代を乗り越える挑戦をしてい

た。だから、「マルクス主義」という形では

あるが、20世紀のある時代、グランドセオ

リとして大きな影響力を発揮した。しかし、

また「マルクス主義」とされたことよって

批判の武器たりえな

かった。今どうなのか。世間

では、「いまさらマルクス主義か。そもそも

グランドセオリーなど

というものがもはや成立しないのではない

か。」。しかし否。「マルクス主義」では

なく、マルクスの理論をつかみ直し、マルクスの挑戦と格闘を引き

反貧困運動の共通の出発点 9・10 藤田孝典講演会

9月10日、兵庫東区 紹介。低収入のために

宮市内で、藤田孝典講演 独自のアパート・住宅

演会がひらかれ210 を持たず、30代後半で

人が参加した。主催は も実家暮らしという実

市民の力で社会を変え 態も紹介した。

よう連続市民講座。 藤田さんは『下流老

人』などの著書で知ら ます。また学生は、裕福で

れる。今回は「下流老 来へ投資をしないこの

人と貧困若者は団結せ 金の責任であり、計

よ 憲法25条から日本 面的な教育と職業訓

再生を」と題して講演 練)でいくらでも救え

た。若者の貧困につい アルバイトせざるをえ

て、低すぎる所得と、 ない。こうした三重苦

そのために結婚すらで ない。苦しい学生の姿を

きない実態を「男性は 5人に1人、女性は10

闘争案内 戦争・治安・改憲NO! 総行動

とき: 9月25日(月) 午後6時

※テモ出発 午後6時半

ところ: 日比谷公園電門

主催: 戦争・治安・改憲NO! 総行動実

行委員会

原子力空母横須賀母港撤回を求める

とき: 10月1日(日) 午後3時

※テモ行進 午後4時

ところ: 横須賀市ヴェルニ公園

主催: 神奈川平和運動センター

三浦半島地区労

市東さんの農地を守ろう

第3滑走路粉砕! 安倍政権打倒!

全国総決起集会

とき: 10月8日(日) 正午

ところ: 成田市東峰・反対同盟員所有畑

主催: 三里塚芝山連合空港反対同盟

麻生副総理の差別暴言を許すな!

兵庫県精神障害者連絡会声明

麻生太郎副総理兼財

務大臣兼金融担当大臣

は9月2日愛媛県西条

市での選挙応援の講演

で、祭りや選挙に絡め

て「このお祭り大変

だ。そういった時に選

挙なんてやれる。選挙

を一生懸命やっている

人はお祭りを一生懸命

を一生懸命やっている

人をお祭りを一生懸命

夏期特別カンパのご協力

ありがとうございます

ありがとうございます

ありがとうございます

ありがとうございます

ありがとうございます

ありがとうございます

ありがとうございます

ありがとうございます

ありがとうございます

ありがとうございます

ありがとうございます

ありがとうございます

ありがとうございます

ありがとうございます

ありがとうございます

長期連載——変革構想の研究 第2回

1848年革命と共産主義者同盟

① 請戸 耕市

革命家マルクス

いうまでもなくマルクスは革命家である。

中へ飛び込んで悪戦苦闘し、挫折も、その中で、マルクスの理論も曲折・変遷している。

「1848年革命と共産主義者同盟」において、マルクスも参加。共産主義者同盟の綱領である。

「共産党宣言」を48年2月に刊行。折しも48年革命が始まったときであった。

48年革命とは、フランス、ドイツ、オーストリアなどヨーロッパ全域に波及した同時革命。産業革命の進展、社会矛盾の拡大と恐慌の発生というなかで、王政復活と反動支配にたいして、自由主義と民族独立を求める反乱に、6月には市民で

が燃え広がり、49年まで続いた。フランスでは、48年2月にパリで市民が蜂起、王政が倒されて共和政の臨時政府が成立。4月の初め男子普通選挙では予想に反して急

進派・社会主義派が少数にとどまり、同年12月の初の大統領選ではナポレオン一世の甥ルイ・ボナパルトが圧勝。さらにルイ・ボナパルトが1851年12月にクーデターを起こし独裁へ向かうも、人民投票では圧倒的な支持を受けるといふ結果になった。

また、プロイセンでも軍隊と市民が大規模に衝突、自由主義政府ができるが、労働者の台頭を恐れるブルジョアが旧支配層と手を組み、軍隊によって革命が圧殺される。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。



1848年2月24日、パリの民衆は武装蜂起し、七月王政を打倒した。この絵では翌25日、臨時政府のラマルティールがパリ市庁舎前で共和制を宣言している様子が描かれている。

は、精神科・神経科。若者の死因のトップが自殺というは、世界で日本だけ。世界で若者が最も生きにくい国であると指摘する。④では、生まれた環境で

は、精神科・神経科。若者の死因のトップが自殺というは、世界で日本だけ。世界で若者が最も生きにくい国であると指摘する。④では、生まれた環境で

は、精神科・神経科。若者の死因のトップが自殺というは、世界で日本だけ。世界で若者が最も生きにくい国であると指摘する。④では、生まれた環境で

は、精神科・神経科。若者の死因のトップが自殺というは、世界で日本だけ。世界で若者が最も生きにくい国であると指摘する。④では、生まれた環境で

は、精神科・神経科。若者の死因のトップが自殺というは、世界で日本だけ。世界で若者が最も生きにくい国であると指摘する。④では、生まれた環境で

は、精神科・神経科。若者の死因のトップが自殺というは、世界で日本だけ。世界で若者が最も生きにくい国であると指摘する。④では、生まれた環境で

は、精神科・神経科。若者の死因のトップが自殺というは、世界で日本だけ。世界で若者が最も生きにくい国であると指摘する。④では、生まれた環境で

は、精神科・神経科。若者の死因のトップが自殺というは、世界で日本だけ。世界で若者が最も生きにくい国であると指摘する。④では、生まれた環境で

は、精神科・神経科。若者の死因のトップが自殺というは、世界で日本だけ。世界で若者が最も生きにくい国であると指摘する。④では、生まれた環境で

は、精神科・神経科。若者の死因のトップが自殺というは、世界で日本だけ。世界で若者が最も生きにくい国であると指摘する。④では、生まれた環境で

進派・社会主義派が少数にとどまり、同年12月の初の大統領選ではナポレオン一世の甥ルイ・ボナパルトが圧勝。さらにルイ・ボナパルトが1851年12月にクーデターを起こし独裁へ向かうも、人民投票では圧倒的な支持を受けるといふ結果になった。

また、プロイセンでも軍隊と市民が大規模に衝突、自由主義政府ができるが、労働者の台頭を恐れるブルジョアが旧支配層と手を組み、軍隊によって革命が圧殺される。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

闘争案内

2017年 戦争あかん！基地いらん！関西のついで

とき：10月21日(土) 午後2時

とき：10月25日(水) 午後6時半

とき：10月26日(木) 午後7時

とき：10月27日(金) 正午・午後3時

とき：10月29日(日) 午後2時

とき：10月29日(日) 午後1時半

とき：10月29日(日) 午後1時半

とき：10月29日(日) 午後1時半

とき：10月29日(日) 午後1時半

とき：10月29日(日) 午後1時半

とき：10月29日(日) 午後1時半

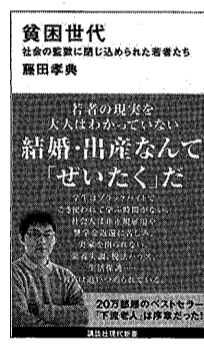
とき：10月29日(日) 午後1時半

とき：10月29日(日) 午後1時半

とき：10月29日(日) 午後1時半

『貧困世代』社会の監獄に閉じ込められた若者たち』を読む

藤田孝典著 講談社現代新書



人生が決まってしまう。2460円(90年)か納金制度のため元金が返済できず、65歳に返す。国立大学の授業料は5万円(70年代)↓している話はとても笑えない。

30万円(00年)↓国立53万・私立73万(14年)。奨学金利用者は(25)35

追いつめられる若者。日本の教育政策の愚劣さ、低劣さに開いた口がふさがらない。

問題は、激動をくぐりぬけた者が、この展開をどう総括しようかという教訓をつかみ取るかだった。特に、当初、革命の展開は、『共産党宣言』の想定のように進むか見えたが、結果は、フランスではルイ・ボナパルトに奪取され、ドイツでは旧支配層とブルジョアが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

この総括の議論の中で、この時期のマルクスが手組んで圧殺された。想定とは大きく違う展開となった。

長期連載——変革構想の研究 第3回

1848年革命と共産主義者同盟 ②

請戸 耕市

1850年革命論

舞台は亡命地ロンドン。共産主義者同盟はロンドンで中央委員会を再建し、総括と展望の議論をたたかわせる。その議論が同盟内の路線対立を先鋭化させて同盟解体に向かわせるのだが、この過程で、この時期のマルクスの革命論の輪郭が浮かび上がってくる。それは、『共産党宣言』とも違う内容なので、便宜的に「1850年革命論」(注1)として扱う。

労働者党に対立するものではなく、また、運動を型にはめるものでもなく、プロレタリアートの階級形成とプロレタリアートによる政治権力の奪取を当面の目的とする。

自覚した少数者へ

ところが、1848年革命の現実の展開は、この想定のようには運ばなかった。そこから(5)の組織戦術を中心に、マルクスは次のように主張を変更した。一連の文書から要点を列挙すれば以下のようなものだ。

まず、革命直前に書かれた『共産党宣言』では、およそ以下のよう者の組織戦術は、他の

第一に、マルクスは、48年革命を敗北としたが、その意味は、革命の前進が、強力な反革命を生み出し、その反革命によって、これまでの革命のあり方が通用しなくなったということだった。そして、その反革命とたたかうことを通して真の革命党が成長していくとした。つまり、プロレタリアート自身ではなく、党を主語とする視点を押し出した(注2)。

第二に、ドイツについては、その諸条件から、階級闘争の当面のヘゲモニーはプロレタリアートではなく民主主義者であり、民主主義者の政策にたいして労働者の政策を対置して、プロレタリアートの党としての独立性とそのヘゲモニーの強化を図っていく必要があるとした(注3)。

第三に、強力な秘密組織の建設を打ち出すとともに、フランスとの連携を打ち出した(注4)。フランスとあり、マルクスの一貫した考えを示した基本文獻という理解が一般的だ(注5)。しかし、実際は、『共産党宣言』の革命論をもつて48年革命に突入し、蜂起の場面に必ずと言っていいほど登場し、生涯の約半分の33年を獄中で過ごしたつわものだが、革命論としては、少数精鋭、武装急襲による権力奪取、革命独裁などを掲げた。

第四に、10時間労働問題や協同組合運動などの課題が浮上していたが、マルクスは、改良の課題は革命によってしか解決しないとし、その意義を否定し、権力奪取に絞らざるを得ないとした(注6)。振り返るに、私たちも、図らずもマルクスのこの曲折をなぞってきたといえる。

第五に、ただマルクスは、主観的意志で革命情勢をつくり出そうとする他の幹部の考えは退けた上で、恐慌では、なぜ『共産

が来れば革命は確実にあるといういわば恐慌II革命論を打ち出し、2年後の1852年に恐慌が発生すると予測した(注6)。(実際に待望の恐慌は57年まで起こらず、それに伴う革命も起こらなかった) 『共産党宣言』の確認から1850年革命論へとこの転換がなされたのか。そしてそれがどうなったのか。それについては次回検討したい。(つづく)

『共産党宣言』の確認から1850年革命論へとこの転換がなされたのか。そしてそれがどうなったのか。それについては次回検討したい。(つづく)

同じく田中和夫論文「チリ9・11反革命の再検討」も、70年代新左翼に典型の「平和革命」などそれ見たことか、(敗北は)「チリ共産党のスターリン主義の反革命綱領による」という平板な規定をこえて、アジエンデ政権の意義と、反革命における軍隊の役割に論及している。

また大伴一人論文「『グラムシの革命論』も、これまでのグラムシ構造改革路線という概念を破棄し、ファシズム台頭下のグラムシの苦闘を、陣地戦、ヘゲモニー論(カウンターヘゲモニー)の形成、国家論、ソチエタ・レゴラータ、サバルタ



パリ・コミュン(1871年)で、市街地に作られたバリケード。多くのプランキストたちがこの蜂起に参加した。

『共産党宣言』の確認から1850年革命論へとこの転換がなされたのか。そしてそれがどうなったのか。それについては次回検討したい。(つづく)

『共産党宣言』の確認から1850年革命論へとこの転換がなされたのか。そしてそれがどうなったのか。それについては次回検討したい。(つづく)

『共産党宣言』の確認から1850年革命論へとこの転換がなされたのか。そしてそれがどうなったのか。それについては次回検討したい。(つづく)

『共産党宣言』の確認から1850年革命論へとこの転換がなされたのか。そしてそれがどうなったのか。それについては次回検討したい。(つづく)

『共産党宣言』の確認から1850年革命論へとこの転換がなされたのか。そしてそれがどうなったのか。それについては次回検討したい。(つづく)

『展望』20号 紹介

ロシア革命100年 ロシアやキューバとグラムシ

『展望』20号はロシア革命100年特集号として発行された。それは現代世界の出发点が第一次世界大戦とロシア革命にあるからである。とはいえロシア革命の教条化や、指導者の理論と行動でその意義を語る方法も克服されねばならない。

『展望』20号はロシア革命100年、革命の軍隊を民兵の再検討も、70年代新左翼に典型の「平和革命」などそれ見たことか、(敗北は)「チリ共産党のスターリン主義の反革命綱領による」という平板な規定をこえて、アジエンデ政権の意義と、反革命における軍隊の役割に論及している。

また大伴一人論文「『グラムシの革命論』も、これまでのグラムシ構造改革路線という概念を破棄し、ファシズム台頭下のグラムシの苦闘を、陣地戦、ヘゲモニー論(カウンターヘゲモニー)の形成、国家論、ソチエタ・レゴラータ、サバルタ

闘争案内

9条改憲を許さない! アベ政治を終わらせよう! 戦争も、核兵器も、辺野古新基地もいらない 11・3おおさか総がかり集会

米軍基地いらんちゃフェスタ in 丹後 2017

もんじゅ廃炉! 核燃サイクルを止める全国集会

ロックアクション講演会「関東大震災朝鮮人虐殺といま」あの日、あの空の下、東京で何が起ったのか?

原発も核燃もいらん 戦争いやや! 17関西集会

共催:大阪平和人権センター/大阪高教組/原発反対福井県民会議

展望 The Perspective 第20号 2017年9月 ●特集 ロシア革命100年

『展望』20号はロシア革命100年特集号として発行された。それは現代世界の出发点が第一次世界大戦とロシア革命にあるからである。とはいえロシア革命の教条化や、指導者の理論と行動でその意義を語る方法も克服されねばならない。

長期連載——変革構想の研究 第4回

1848年革命と共産主義者同盟

③

市耕戸請

想定外だった

ルイ・ボナパルトの登場



ルイ・ボナパルト (1808-1873)

前回②で、1848年人から一千万人という年革命を経たマルクス規模に拡大、急進共和派や社会主義者などの左派の台頭が予想され

ではこの人びとがどうしていった。そういう政治的議論に對する労働者の幻滅と憤怒が、政府や議院を超越する力を求めた。その怒りと要求もまたナポレオン幻

「文明人の知力では解けない」

ルイ・ボナパルト問題と区別される集団であり、泥棒やあらゆる種類の犯罪者の供給源であり、社会の落ちこぼれ層をひろって生

「1848年12月10日(大統領選挙)は農民反乱の日であった。農民が革命運動に入っ

「原発と戦争をすすめる愚かな国」小出裕章さんの講演を聞いて

原発と戦争をすすめる愚かな国

小出裕章さんの講演を聞いて

11月 大阪

「原発と戦争をすすめる愚かな国」小出裕章さんの講演を聞いた

「原発と戦争をすすめる愚かな国」小出裕章さんの講演を聞いた

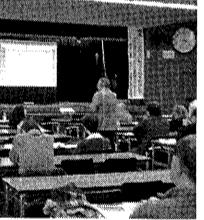
北朝鮮漁民の遭難死を悼む

報道によると、日本の船底に乗って漂流 転覆船を発見し、船内

の死に、哀悼の言葉を口にすることなく、「転覆船や漁網・ロープが漂流していると、操業の障害になり、危険だ」と発言していた。

さいなら原発びわこネット集会

高浜原発地元で密着取材の記者が講演



11月19日、さいなら原、高浜地区では40年原発びわこネットの集

は、関電が老朽原発の例外的な延長を説明したとき、アメリカでは「夜の電気が輝き、朝起きても目の前に原発がある。こんなところには住みたくない」「子どもには帰って来な」といったという回答が多い。そういうなかで、月2回ひらかれる全戸集いに部外者は参加できないことに怒りの声が噴き出た。東京や大阪から定年退職で戻って来た人が、外からの視点を持ち込み運動の中心にいるという。

ナポレオン幻想 一体だれがルイ・ボナパルトに投票したのか。ブルジョア層も

また、2月革命が王政を倒し、その後になく示していた「ナポレオン、それは農民にとつて人ではなく綱

マルクスは、ルイ・ボナパルトを支持した農民や労働者に向かっ

「原発と戦争をすすめる愚かな国」小出裕章さんの講演を聞いた

「原発と戦争をすすめる愚かな国」小出裕章さんの講演を聞いた

「原発と戦争をすすめる愚かな国」小出裕章さんの講演を聞いた

長期連載——変革構想の研究 第5回

1848年革命と共産主義者同盟

④

請戸 耕市

「階級闘争の歴史」

「階級闘争の歴史」は、これまでのすべての社会の歴史は階級闘争の歴史である。

「ブルジョアジーの暴力的に打倒して自分時代は、階級対立を単純にしたという特徴をもっている。全社会は、あまりにも有名な『宣言』のフレーズで...

「ブルジョアジーの暴力的に打倒して自分時代は、階級対立を単純にしたという特徴をもっている。全社会は、あまりにも有名な『宣言』のフレーズで...

「ブルジョアジーの暴力的に打倒して自分時代は、階級対立を単純にしたという特徴をもっている。全社会は、あまりにも有名な『宣言』のフレーズで...

「ブルジョアジーの暴力的に打倒して自分時代は、階級対立を単純にしたという特徴をもっている。全社会は、あまりにも有名な『宣言』のフレーズで...

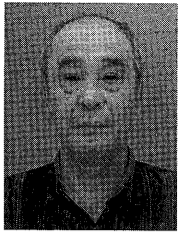
「ブルジョアジーの暴力的に打倒して自分時代は、階級対立を単純にしたという特徴をもっている。全社会は、あまりにも有名な『宣言』のフレーズで...

「ブルジョアジーの暴力的に打倒して自分時代は、階級対立を単純にしたという特徴をもっている。全社会は、あまりにも有名な『宣言』のフレーズで...

生涯入管闘争をたたかう

吉田雅信同志をしのぶ

村野良子

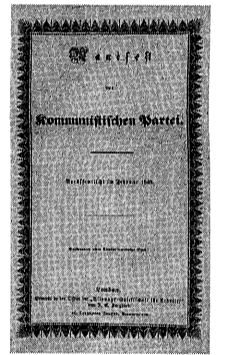


吉田同志が昨年10月3日に亡くなってから4カ月がたとうとして...

私は、いまだ彼の死の現実を受け止め切れません。今にも、電話がかかってくる...

吉田雅信同志 略歴
1953年 生まれ。
1969年 大阪府立勝山高校入学。
1970年 7月入管闘争に決起し、反戦高協へ加盟。
1971年 11月 渋谷・日比谷暴動闘争を高校生部隊の先頭でたたかい、大阪の高校生運動をけん引。
1991年から反「入管法」運動関西交流会に参加。
2017年 10月 3日 肺がんのため死去。享年 64。

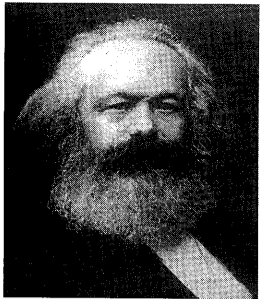
「ブルジョアジーの暴力的に打倒して自分時代は、階級対立を単純にしたという特徴をもっている。全社会は、あまりにも有名な『宣言』のフレーズで...



1848年、ロンドンで出版された『共産主義者同盟の宣言』の初版表紙

「ブルジョアジーの暴力的に打倒して自分時代は、階級対立を単純にしたという特徴をもっている。全社会は、あまりにも有名な『宣言』のフレーズで...

「ブルジョアジーの暴力的に打倒して自分時代は、階級対立を単純にしたという特徴をもっている。全社会は、あまりにも有名な『宣言』のフレーズで...



カール・マルクス (1818 - 1883)



フリードリヒ・エンゲルス (1820 - 1895)

『大綱』と『状態』

前回は『宣言』の(階級の歩みにおいても)一つの段階がやってくるの矛盾がi階級対立、ii生産における工場内での組織性と社会全体での無政府性、iii階級闘争の二極化から革命を展望する歴史観・革命論の輪郭が把握から、階級闘争を通じて国家権力を掌握し、

長期連載—変革構想の研究 第6回

エンゲルスの体系とマルクス主義

1848年革命と共産主義者同盟

市耕戸請

『唯物史観』と『経済学』

『宣言』と同じようにかなければならない書物(注23)と推奨し、ii生産における工場内での組織性と社会全体での無政府性、iii階級闘争の二極化から革命を展望する歴史観・革命論の輪郭が把握から、階級闘争を通じて国家権力を掌握し、

ではマルクスとエンゲルスの理論を対照してみよう。まずエンゲルスから。『プロレタリアートの集中が迅速に発露することによって幾何級数的に増大し、やがて少数の百万長者を例外とする国民を構成するにいたるであろう。だが、こうした発露の途上で、プロレタリアートが、現存の社会権力を打倒することがいかに容易であるか、という点をささる一盾』と述べた。

『経済学批判』ではマルクスの「経済学批判」とは何か? 『国民経済学』では何かが? 『疎外された労働』は「疎外された労働」の把握がない。そして「マルクス主義」では、マルクス主義の三つの源泉と三つの構成部分(1913年)、『レーニン全集』第19巻(注24)『Glossbe多言語オンライン辞書』(注30)『ヘーゲル国法論批判』『要綱』(注31)『経哲』『要綱』『資本論』(注32)『カール・マルクス(1818-1883)』『レーニン全集』第21巻

『反論』について、彼ら(マルクスとエンゲルス)の見解がもっとも明瞭に、くわしく述べられている。「共産主義」の適用(すべての社会関係が)批判である。それらを固定的孤立的に捉える方法である。要するに「賃労働」であるが、マルクスは(労働の体系である)注32(レーニン)の通説ではこうだったが、上で見たように「マルクス主義」とはエンゲルスによって体系化されたものであり、そこにはマルクスの理論の核心が継承されていないという点を再認識する必要がある。上で(発露)「対象」など、な

焦点

香月 泰

習近平の中国と、どう向きあおう

習近平思想

昨年10月に開かれた中国共産党第19回全国代表大会では、党規約に「新時代の特色ある社会主義についての習近平思想」が明記された。それまで党規約に名前が載ったのは毛沢東の「毛沢東思想」で、国家主席の任期制をなくした憲法改正も、習近平に権力を集中させている。

今年3月5日から20日までおこなわれた第13期全国人民代表大会第1回会議（全人代）では、国家主席の任期制から転換して、習近平に権力を集中させている。

国内問題

中国はなぜ集団指導体制から転換して、習近平に権力を集中させているのか。その背景には、中国が抱える国内問題がある。特に深刻なのは都市と農村の格差の拡大であり、農村における貧困の拡大である。その解決のためには住民を都市（戸籍）と農村（戸籍）に二分して指導理念が新たに党規約に書きこまれた「習近平思想」とよばれる

「中国の夢」

中国共産党は結党100周年の2020年までに中国を「全面的な小康社会」（やゆゆりのある社会）にゆとりのある社会にし、建国100周年の2049年までに「社会主義現代化強国」豊か



3月5日から20日にかけて開催された中国全人代の壇上で握手する習近平国家主席（左）と李克強首相

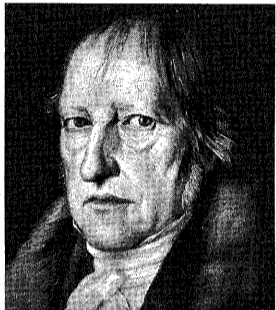
なく相互扶助が行きわたった社会を指しており（広辞苑）、古来より中国人が理想としてきた社会状態である。これが、「中華民族の大同世界」の実現を偉大な復興であり、めざすという。「大同世界」とは利己主義が

しかし最初の目標（全面的な小康社会）の達成はあと2年余りしかない。指導部がこのようなタイトなスケジュールを自らに課さなければならぬ。中国の国内矛盾の解決が急務となっている。習近平への権力の集中は、単なる個人的な権力欲を満たすためのものというよりも、強権体制によるならば改革の業績を上げることで可能なこととされている。中国共産党は、設定した目標を達成するために、対外関係の安定が不可欠であると考えている。むしろ彼らが懸念しているのは、中国が不用意に周辺地域の紛争に巻き込まれ、国内問題に集中できないことだ。そのため中国共産党は、対米関係の安定化を強く望んでいる。中国が掲げる「一帯一路」構想の核心は、それが西方に向けてその経済圏を拡大しようとしていることである。すなわちアメリカと衝突する東方には進出しないということなのである。

長期連載——変革構想の研究 第7回

悟性的把握か概念的把握か（上）

請戸 耕一



G.W.F.ヘーゲル (1770-1831) ドイツの哲学者。ドイツ観念論の大成者。自然・歴史・社会の発展過程を弁证的に捉えた。

前回予告では階級闘争論に入るとしてしたが、その前にいくつか補足説明の必要を感じた。ひとつはマルクスとエンゲルス（ないし「マルクス主義」の中心として挙げた「概念的把握」である。分りにくい説明になるかもしれないが重要なところなのでお付き合い願いたい。

マルクスと「マルクス主義」の分割線

概念的把握とは、近

代知（近代的諸個人

事物・事態の把握の

法、そういう方法に

よって集積された認

識、その認識にもつ

で生きる人間諸個人が、社会の矛盾をどうしたら把握できるかという格闘にかかわる問題である。近代知の限界性の枠内にとどまる「概念的把握」ないし「概念的把握する」といふこと、それによつて集積された認識の分岐点であり、スミス、リカードなどの古典派経済学とマルクス「経済学批判」との「経済学批判」との分水嶺であり、前回の議論に沿えば、マルクスの理論と「マルクス主義」を分ける分割線が概念的把握である。て、概念的把握とは、

この命題の意味は、AであることとAでないこと、という対立する両項が、同時に並立するということ。しかし、常識的に考えたら、AであることとAでないこと（対象化）することによってである。形態化とは、AがA'に変化する、A'がA'に変化する、A'がA'に変化する、という新しい形態化しながら存立するのである。A'がA'に変化する、A'がA'に変化する、A'がA'に変化する、という新しい形態化しながら存立するのである。

商品・貨幣・資本

話が思弁的で、資本主義批判や革命論の話とも関係があるのかという疑問が、マルクス『資本

このように、A、A₁、A₂、非A、非A₁、非A₂、…といった重要性がまだ見えにくいので、次回、近代知の限界性とその突破という観点から、もう少し突っ込んでみたい。

対米関係

中国は「強国」といふ言葉を「大国」を超えて使用している。そのためそれが「覇権

長期連載——変革構想の研究 第8回

悟性的把握か概念的把握か(下)

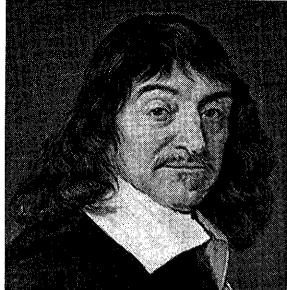
請戸 耕一

(上)では(Aかつ非A)という命題を示して、概念的把握を概説した。今回は、近代知(近代的諸個人の事物・事態の把握の方法、その方法によって集積された認識、その認識にもとづく世界像)の限界性とその突破という問題から入る。

近代知のアポリア

近代知の起点は、デカルトの「われ思う」の主観も転倒させられ(注33)という主観である。商品生産によって共同体が解体され、そこから近代諸個人が生じた。近代諸個人はバラバラの個人である。近代諸個人の主観は、一方で、共同体の解体によって、共同の束縛から自由

に認識するものであるが、他方で、「自然との連関」や「人間同士の連関」という自然・人間・社会にかかわる「実在の連関」から切り離され、自然・人間・社会にその上に、自然・人間・社会にかかわる「実在の連関」にたいして、その疎外態である「物象の連関・商品貨幣、資本の連関」が前面化し、それが人間



デカルト(1596-1650) フランスの哲学者。近世哲学の父。「我思う、故に我あり」の命題を確立し、第一原理の幾何学

対立し支配するといふ転倒した世界になっ ており、近代諸個人 の主観も転倒させられ (注33)という主観で ある。商品生産によっ て共同体が解体され、 そこから近代諸個人が 生じた。近代諸個人 はバラバラの個人で ある。近代諸個人の 主観は、一方で、共 同体の解体によって、 共同の束縛から自由

分析的な方法によつては、到達できない「存在」を把握する可能性が開かれた。確かに、その方法は画期的だが、しかし、ヘーゲルには大前提において重大な欠陥があった。少しヘーゲルに沿って見てみよう。

先ほど、近代知において「われ思う」という主観を起点に、分析的方法で「存在」の把握に向かうとして、結局、認識が主観と客観の分裂に陥っていると述べた。

このように近代知の限界性にたいする批判として「Aかつ非A」として「Aかつ非A」という矛盾の存在がつかめない。つまり、「われ思う」という主観を起点に、分析的方法で「存在」自然・人間・社会のあり方・その矛盾・転倒・という方法を対置した。

「客観主義」とが、同じ事物を見ているはずなのに分裂してしまふ。近代知においては、認識が、主観主義と客観主義に常に分裂し、その間を振動し、像が定まらない状態なのである。

「客観主義」とが、同じ事物を見ているはずなのに分裂してしまふ。近代知においては、認識が、主観主義と客観主義に常に分裂し、その間を振動し、像が定まらない状態なのである。

「客観主義」とが、同じ事物を見ているはずなのに分裂してしまふ。近代知においては、認識が、主観主義と客観主義に常に分裂し、その間を振動し、像が定まらない状態なのである。

「客観主義」とが、同じ事物を見ているはずなのに分裂してしまふ。近代知においては、認識が、主観主義と客観主義に常に分裂し、その間を振動し、像が定まらない状態なのである。

「客観主義」とが、同じ事物を見ているはずなのに分裂してしまふ。近代知においては、認識が、主観主義と客観主義に常に分裂し、その間を振動し、像が定まらない状態なのである。

「客観主義」とが、同じ事物を見ているはずなのに分裂してしまふ。近代知においては、認識が、主観主義と客観主義に常に分裂し、その間を振動し、像が定まらない状態なのである。

「客観主義」とが、同じ事物を見ているはずなのに分裂してしまふ。近代知においては、認識が、主観主義と客観主義に常に分裂し、その間を振動し、像が定まらない状態なのである。

「客観主義」とが、同じ事物を見ているはずなのに分裂してしまふ。近代知においては、認識が、主観主義と客観主義に常に分裂し、その間を振動し、像が定まらない状態なのである。

「客観主義」とが、同じ事物を見ているはずなのに分裂してしまふ。近代知においては、認識が、主観主義と客観主義に常に分裂し、その間を振動し、像が定まらない状態なのである。

「客観主義」とが、同じ事物を見ているはずなのに分裂してしまふ。近代知においては、認識が、主観主義と客観主義に常に分裂し、その間を振動し、像が定まらない状態なのである。

「客観主義」とが、同じ事物を見ているはずなのに分裂してしまふ。近代知においては、認識が、主観主義と客観主義に常に分裂し、その間を振動し、像が定まらない状態なのである。

「客観主義」とが、同じ事物を見ているはずなのに分裂してしまふ。近代知においては、認識が、主観主義と客観主義に常に分裂し、その間を振動し、像が定まらない状態なのである。

「客観主義」とが、同じ事物を見ているはずなのに分裂してしまふ。近代知においては、認識が、主観主義と客観主義に常に分裂し、その間を振動し、像が定まらない状態なのである。

「客観主義」とが、同じ事物を見ているはずなのに分裂してしまふ。近代知においては、認識が、主観主義と客観主義に常に分裂し、その間を振動し、像が定まらない状態なのである。

「客観主義」とが、同じ事物を見ているはずなのに分裂してしまふ。近代知においては、認識が、主観主義と客観主義に常に分裂し、その間を振動し、像が定まらない状態なのである。

闘争案内 大飯原発ごかすな! 5.9おおい町現地行動... 闘争案内 大飯原発ごかすな! 5.9おおい町現地行動... 闘争案内 大飯原発ごかすな! 5.9おおい町現地行動...

長期連載——変革構想の研究 第9回 疎外論(上)

疎外、物象化、物神崇拜

戸 耕 一 請

連載第6回(第242号)「エンゲルスの体系とマルクス主義」で、マルクスとエンゲルス(および「マルクス主義」との理論上の違いを指摘し、その核心点として「概念的把握」と「疎外された労働」を挙げた。そして「概念的把握」について第7回、8回で概説した(第244号、245号)。さらに「疎外」については「疎外」という言葉は比較的知られてはいるが、論争が絶えない概念でもある。ここでは通説・論争とともに本稿の見解を示したい。

疎外の通説

まず、「疎外」という言葉を辞書(例えば『デジタル大辞泉』)で引いてみる。

- ①嫌ってのけものにする。[「新参者を疎外する」]
- ②人間がみずから作り出した事物や社会関係・思想などが、逆に人間を支配するような疎遠な力として現出すること。また、その中

で、人間が本来あるべき自己の本質を喪失した非人間の状態。

③↓自己疎外 i ヘーゲル哲学で、疎外論の解説としては「…人間の非本来的状態がある存在が自己の本質を本来的自己の外に出す。自己にとって疎遠な他者となること。疎外。①の前半の「人間がみずから作り出した…」の下線部分。状態」という基準が概念的に指定されている。これは「物象化」ないし「物神性」を解説しているのと読めるが、マルクスの疎外論として部分的である。第二に、②の後半お

式で疎外論が理解されている。たしかに通説では概ねこういう図式だ。しかし、これはマルクス疎外論ではない。疎外論は、その是非や理論全体の中での扱いをめぐって長い論争が続けられてきたのだが、問題なのは、その論争が、マルクスの主張ではない通説を共通の前提にしてその是非を論争してきたことである。論争については後で触れよう。

あり方ないし存在の把握の仕方である。生きた存在—労働する諸個人、あるいは商品、貨幣、資本など—は矛盾を抱えており、その矛盾によって、自己と対象の面極に分裂し、自己と対象が互いに疎遠になって対立している。生きた存在の自己矛盾を解決するた

め、産出された疎外態が、自己に対立する対象である。ひとまず、この対立をどう捉えたいか。狭義の疎外。しかしまた、自己に

対立した対象は、自己に疎遠な自立性となり、対象が自己に対立する主体となり、対象が自己を支配し、これが「物象化」し、対象が能動的な力を持っていて見えてくる、という認識の転倒が生じる(これが「物神性」「物神崇拜」)。

疎外II自己矛盾

それではマルクスの疎外論はどういう内容か。簡潔に述べておこう。

マルクスにおいて疎外とは矛盾とほぼ同義であり、しかも自己矛盾であり、その矛盾を通過して存立する存在の状態の回復」という図式で述べられている。抑圧人民への限らない共感の持ち主であった。彼は徹底した平和主義者であったが、他民の多くの裁判を手掛けた。2003年、京都弁護士会会長に就任。7年前、肝臓がんを発症。闘病中も弁護士活動や社会運動の援助を続けた。彼はまた、多くの良心的なたたか

追悼 闘う弁護士・塚本誠一さん

塚本誠一さんは1944年生まれ。74歳だった。70年代はじ

9条改憲阻止、沖縄基地撤去・沖縄の自決・勝ち取った。起訴されると99%以上が有罪になる日本の刑事裁判に

私は自らの経験を通して、彼をあえて「革命家」と呼びたい。彼が、再稼働反対など数々のたたかいは支え、自ら先頭に立って反戦平和と被差別・被



エンゲルスとマルクスに見る疎外論の統一

三つ巴の論争

では論争を概観しておこう。およそ次の三つの立場になる。一つは、疎外論はマルクスがマルクス主義者になる以前の未熟なマルクスの理論で、後期の成熟したマルクスにおいては克服された状態を捉えるために、本来た

悟性、か、概念、か

上で見た通説との対比でいえば、通説は「疎外された状態」を捉えるために、本来たマルクス主義の正統派基準を指しているが、それは存在の外側に措置に親和的な潮流であり、スターリン主義を指している。これは、正統派に

これに対して、マルクスは、存在そのものの生きた矛盾を捉え、その自己矛盾の展開として捉えている。さらに、矛盾する両極を、対立しているものとして統一しているものとして捉えている。つまり、マルクスの方法が概念的把握であり、(疎外論は、マルクスの中にあるヘーゲル主義の悪しき残滓で性的把握なのだ。悟性

対立と統一においてとらえられない方法で、構造主義や関係主義に連なる潮流である。概念をめぐって三つ巴の論争となった。説明する場合、『経済学・哲学草稿』の「疎外された労働」で説明するのが通例だが、その概念の関わりは、上

でも正当に評価されることが少ない「ヘーゲル法論批判」がある。マルクスは、『経哲』に先だって『国法論批判』で、ヘーゲル批判を通して、矛盾論を中核とする社会システム把握の方法を確立した。その方法にもとづいて、あった。しかもスターリン主義にあって、「市民社会の解剖学」を経済学批判に求め、かつその基礎に、矛盾としての「疎外された労働」を置いた。そして、「疎外された労働」をキーワードに、現存の社会システムの矛盾したあり方と新しい社会のあり方を明らかにした。『経済学批判要綱』、『資本論』は、そういう経済学批判の作業の成果である。つまり、『国法論批判』と『経哲』でつか

核心の解体

ところがこの核心的

人間の存在把握と共産主義の原理

請戸 耕市



1872年。ハーグ大会に臨むマルクスとエンゲルス

前回、「マルクス主義（注1）などの諸説を対照しながら、疎外論を（疎外II矛盾）論として概観した。今回もその続きだが、（個別と普遍の対立と統一）というマルクスの方法と、それにもとづく共産主義の原理について概説したい。

前回、「マルクス主義（注1）などの諸説を対照しながら、疎外論を（疎外II矛盾）論として概観した。今回もその続きだが、（個別と普遍の対立と統一）というマルクスの方法と、それにもとづく共産主義の原理について概説したい。

問題設定

まず、マルクスには、初期から後期まで一貫した問題設定があった。まとめる以下。

（一）で、市民社会において、諸個人がバラバラに存在し、他方で、神、国家、貨幣などが社会的な力を発揮している。諸個人はそれらに從属を余儀なくされている。これをどう把握するのか？人間の解放とはどういうことか？（注2）

これは、マルクスに限らない、近代に直面した同時代人の共通した問題設定でもあった。この問題設定をめぐって様々な観方が提出されるが、大別すれば、社会契約説か、社会有機体説かの二説。二つの事柄は、一見、ハラバラの個人と

個別と普遍

（個別と普遍の対立と統一）これは、マルクスが、『ヘーゲル国法論批判』において、示した方法である。

マルクスの方法をこのようにつかむと、社会契約説・社会有機体説の議論の欠陥も見えてくるだろう。両説は、とを媒介する関係行為が

像の分裂と振動

マルクスの方法をこのようにつかむと、社会契約説・社会有機体説の議論の欠陥も見えてくるだろう。両説は、とを媒介する関係行為が

マルクスの方法をこのようにつかむと、社会契約説・社会有機体説の議論の欠陥も見えてくるだろう。両説は、とを媒介する関係行為が

人間の存在把握

では、マルクスが把握した内容はどうか。人間は、個別と普遍の対立と統一である。これがマルクスの特徴である。

人間は、自然によって産出されたものであり、人間は自然史の一部である。しかしまた人間は、自然に對立的に自立した存在でもある（注3）。

労働と自己意識

ここで重要なのは、労働が自己意識を産み出し、人間が自己意識を持つて関係行為をおこなう点である。ここに人間の特質、労働の特徴がある。

疎外と自立化

ところが、自然に對立的に自立化した人間は、自然との統一に無関係に、自己の抽象的自立するという背理も自由によって起る。そう

ところが、自然に對立的に自立化した人間は、自然との統一に無関係に、自己の抽象的自立するという背理も自由によって起る。そう

れた普遍性が自立化・主体化したものに他ならない。そして、貨幣は、労働を指定することで、資本という物象的主体として総体性となる。資本において疎外が完成する。

労働II生産を指定した資本は、商品関係という（私的なもの）でありながら、人間の労働過程という（社会的なもの）であるという矛盾した存在になる。さらに、資本の下で、商品関係において、①（統一）も存在しているが、はみだ頭在化していな

統一」という（本質的な矛盾）を抱えるのが疎外が現れる。こうした現実の人間の存在であって（疎外の疎外）をもつて、（本質的な矛盾）を止揚し、共産主義・アソシエーションが頭在化していく。これが第二の結論である。

「マルクス主義」以上が、『国法論批判』『経哲』のエッセ

統一」という（本質的な矛盾）を抱えるのが疎外が現れる。こうした現実の人間の存在であって（疎外の疎外）をもつて、（本質的な矛盾）を止揚し、共産主義・アソシエーションが頭在化していく。これが第二の結論である。

「マルクス主義」以上が、『国法論批判』『経哲』のエッセ

統一」という（本質的な矛盾）を抱えるのが疎外が現れる。こうした現実の人間の存在であって（疎外の疎外）をもつて、（本質的な矛盾）を止揚し、共産主義・アソシエーションが頭在化していく。これが第二の結論である。

「マルクス主義」以上が、『国法論批判』『経哲』のエッセ

統一」という（本質的な矛盾）を抱えるのが疎外が現れる。こうした現実の人間の存在であって（疎外の疎外）をもつて、（本質的な矛盾）を止揚し、共産主義・アソシエーションが頭在化していく。これが第二の結論である。

「マルクス主義」以上が、『国法論批判』『経哲』のエッセ

【参考文献】

見田石介 『見田石介著作集』1、3、4巻
有井行夫 『マルクス社会システム理論』
服部健二 『歴史における自然の論理』
大谷積之介 『マルクスアソシエーション』